

## 2021 年 IAEG 総会 参加報告

IAEG Japan National Group 代表 千木良 雅弘  
国際委員会 委員長 長谷川 信介  
国際委員会 幹事 山田 大介

### <IAEG 総会 (Council Meeting) >

IAEG(International Association for Engineering Geology and the Environment)の総会は年 1 回開催される約束で、当初、2020 年にギリシャのアテネ、2021 年にアルゼンチンでそれぞれ行われる地域会議に合わせて開催される計画であったが、新型コロナウイルスの感染拡大のため 2020 年は休止を余儀なくされた。

今回、2021 年 Council Meeting は、1 年延期になった「3rd European Regional Conference of IAEG」(2021 年 10 月 6 日～10 日、ギリシャ・アテネ)の開催に合わせて、10 月 7 日に開催された。COVID-19 の影響もあって対面・Web でのハイブリッド開催となり、各 National Group からは 41/69 (出席 7, **online 出席 34**) の出席となった。(参考：2019 年の韓国済州島開催時：出席 17)

Japan National Group からは、千木良 NG 代表+国際委員会 3 名 (長谷川委員長、菊地副委員長、山田幹事) の計 4 名が online で出席した。定刻の GMT9:30 (JST18:30) に Rafiq Azzam 会長の開会挨拶で始まり、これまでの Council Meeting の議題を踏襲する形で議事が進行し、ほぼ定刻の GMT13:10 (JST22:10) 頃に議事が終了した。以下に Council Meeting の概要を報告する。

#### 1.1 主な議題

- ・会長活動報告、事務局長活動報告、会計報告と来期予算
- ・各地域の副会長による活動報告
- ・ブリテン編集長報告、Web サイト管理者報告、ブリテン編集長報告
- ・YEG (Young Engineering Geologists Committee)の活動報告
- ・諮問委員会による報告 (各 Commission の活動状況の評価)
- ・Commission の活動報告
- ・新期加入国と活動再開国の紹介
- ・IAEG 後援会議の紹介・決定
- ・各種受賞者の紹介
- ・Deep-time Digital Earth (DDE) への IAEG 参加に関する提案
- ・2022 年 Executive and Council meeting の開催場所
- ・次期役員 (2023-2026) の選挙について

#### 1.2 主な話題

##### (1) 会員動向

会員数は、2021 年 9 月 30 日時点で 3,509 人(NG:41/69)であり、With Bulletin1,521 人、Without Bulletin が 1,955 人である。会員の多い国は、中国 585 人、ドイツ 481 人、ニュージーランド 459 人の順であり、With Bulletin の会員数では、英国 292、中国 227 人、ニュージーランド 179 人の順である。日本の会員数は 77 人(うち With Bulletin 65 人)である。新しい NG として、いずれも南米の 7 か国 (ベラルーシ、ボリビア、チリ、コスタリカ、モンゴル、ペルー、メキシコ) が加わった。また、

3 か国（アルバニア、イラン、ベトナム）が活動を再開し、7 か国は音信不通状態にある。

## (2) IAEG Bulletin

インパクトファクターは 2020 年に 4.298 で、過去の IAEG の歴史において最高記録となった。

## (3) Website

YouTube チャンネルを新たに立上げたことにより、各種動画の公開が可能となった。SNS (Facebook, Instagram) も紹介された。

## (4) YEG

YouTube, Facebook, Twitter を新たに立ち上げており、2020 年 6 月以降は e-Webinar シリーズ（毎月掲載）を開始・継続中である。今後は、世界 3D バーチャルツアーなども予定している。

## (5) Commission

全 19 の委員会のうち、非常に活発に活動しているのは 8 つ、活動再開は 1 つである。このうち、千木良代表が参加している C37 (Landslide nomenclature) は、2021 年の活動報告が総会に提出された。

<参考：IAEG Commissions List>

Commission No.	Title
C01	Engineering Geological Characterization and Visualization
C04	Education and Training
C10	Building stones and ornamental rocks
C16	Engineering Geology and the protection of ancient monuments and archeologic sites
C17	Aggregates
C19	3D terrestrial Laser Scanning Technology in the Geosciences
C20	Risk based contaminated land management
C21	Engineering Geology for Development in Permafrost Regions
C24	Neotectonics and Geohazards
C25	Use of Engineering Geological Models
C28	Reliability quantification of the geological model in large civil engineering projects
C29	Structure and Behavior of Soil and Rock mass
C32	Engineering Geology and Rural Infrastructure
C34	Marine Engineering Geology
C36	Engineering Geology for Waste Disposal
C37	Landslide Nomenclature
C38	Rock mass Characterization with Emphasis in Rock Slope Hazards
C39	Naturally Occurring Asbestos

## (6) IAEG 後援会議

- ・2021 年の第 13 回 IAEG アジア地域会議は、11 月にシンガポールにおいてバーチャルで開催される。
- ・マレーシア NG から、第 14 回 IAEG アジア地域会議（2023 年）の開催に関する提案が示された。

本会議に合わせて、Executive and Council meeting の開催を希望した。

- ・クロアチア NG から、第 2 回 IAEG 欧州地域会議（2023 年）の開催に関する提案がなされた。
- ・上記会議はともに、2022 年成都で開催される予定の Council meeting で最終決定される。

#### (7) 今後の総会の開催

- ・2022 年の Executive and Council meeting は、2022 年 9 月 12～13 日に中国・成都においてバーチャルで開催される予定の第 14 回 IAEG コングレス(IAEG XIV Congress) の期間中に開催予定である。その際、次期役員（2023-2026）の選挙も行われる予定である。

2023 年の総会の開催地はマレーシアが提案しているが、バーチャルとは言えアジアでの開催が連続することになるので、ヨーロッパ、あるいは南米になるか、は役員の交代もあり成都での総会で決まると思われる。

#### (8) 受賞

Oliveira 名誉会長は、Marinos 元会長の業績と貢献を紹介した上で名誉会長に推薦し、その場で承認された。

最後に、この会議が開催された翌週に、Marinos 名誉会長死去の悲報が IAEG Connector E-News 上で Azzam 会長から報告された（享年 77 歳）。故人は会議にも出席されており、席上で 3 人目の名誉会長に推薦・承認された、その 2 日後のことであった。Faquan 事務局長からは、故人が IAEG の発展に長年に渡って貢献してきたことを伝える追悼記事が投稿された。約 30 年前の 1992 年に京都で IAEG 総会が開催されたときに、故人はヨーロッパ地域の IAEG 副会長として参加されており、日本応用地質学会のメンバーにも馴染みがある方であった。この場を借りて、Japan National Group として謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りします。